

# 令和6年度愛知県中学生バドミントン大会

## 競技上の注意事項

この注意事項を遵守し、公正かつ円滑に大会運営が行なわれるようご協力お願いいたします。

1. 本大会は、令和6年度（公財）日本バドミントン協会競技規則、大会運営規程並びに公認審判員規程により行います。
2. 選手は、競技場で待機し、コール（場内放送）に従い、指定されたコートに集合してください。コール後5分を経過しても集合が確認できない場合は「棄権」とみなすこともありますのでご注意ください。
3. 各コートバックバウンダリーライン後方にコーチ席2席を設置します。コーチはマッチ（試合）にふさわしい服装で臨んでください。裸足、スリッパではベンチに入れません。シューズを必ず着用してください。
4. 開会行事前に、練習時間をとります。
5. 試合中の怪我等については大会主催者の指示に従ってください。主催者が認めた者がコート内に入り、処置を行ないます。それ以外の者は選手に触れないでください。  
出血をともなう怪我（鼻出血を含む）については応急処置を行ない、主催者判断のもとで競技を続行します。それ以外の場合（足がつるなど）については、プレー続行を促し、続行不可能な場合は棄権を宣告する場合があります。
6. シャトルやラケットの交換、靴ひもの締め直し等でプレーを中断する場合には、必ず主審の許可を得てください。また、試合中の汗拭きや水分補給等は同様に主審の許可を得てください。飲み物は必ず栓ができる容器を使用し、フロアに水滴がこぼれないように配慮をお願いします。なお、選手の状況等によっては主審が認めない場合もあります。  
また、氷嚢やドリンクなどを入れるクーラーボックスをアリーナ内に持ち込むことは禁止します。持ち込む場合は、ソフトケースを使用してください。なお、ソフトケースも個人戦はコーチ席までしか持ち込めません。
7. マッチ（試合）中のコートまたはコート周辺でのプレーヤーの携帯電話が鳴った時は、競技規則第16条第6項(4)違反とみなします。競技区域での携帯電話の使用は禁止です。また、モバイル機器（スマートフォン・タブレット・携帯電話等）を使用して試合中のアドバイス・コーチングも禁止です。
8. 競技規則第16条7項の規定により、以下のような行為は警告、フォルトまたは失格となりますので注意してください。
  - (1) プレーを故意に遅らせたり、中断したりすること。
  - (2) 故意にシャトルに手を加えて破損したりすること。
  - (3) 見苦しい服装でのプレー、審判員や観客に対する横柄な態度など、下品で無礼な態度や言動。

(4)コート施設を叩いたり、耳障りなかけ声や呼び声を発するなど、競技規則を超えた不品行または不快な行動。

ネットや床をたたく行為は、競技役員長より警告をあたえます。繰り返されるようならば失格処分を下すこともあります。

9. 審判員の判定に対して疑問のある場合には、個人戦については当該選手に限り主審に質問することを認めます。ただし、抗議や異議は認めません。

- ・主審や線審が「イン」と判定したことに対して、「今のはアウトではないですか」と言うことは抗議にあたります。インやアウトの判定に選手が質問のようにでも主審に聞くことは抗議となります。
- ・選手やベンチから主審や線審のジャッジに影響を与えるような発言は認められません。場合によっては、選手は警告の対象となり、監督・コーチはベンチから退場となる場合があります。
- ・質問とは、例えば、サービスでフォルトを取られたときに、何のフォルト（足が浮いた、シャトルが 1.15m より高い位置で打たれた、など）を取られたのかを聞くことができます。ルールの解釈が主審と違うときに質問できます。

10. 選手は、試合中上衣の背面中央必ず所属団体名（〇〇中、〇〇Jr. など）と選手の姓（同姓の選手が団体内に所属している場合は名前の一文字目）を示したゼッケンつけて競技を行ってください。詳しくは、「愛知ゼッケン規程」を確認してください。

- ・ゼッケンは4点をとめてください。
- ・ユニフォームに学校名などがプリントされている場合、全てが隠れるようにゼッケンをつけてください。

11. 応援をする選手や保護者に次のことを連絡し絶対に行わないように徹底してください。

- ①ラリー中の声援（サービスの構えに入った場面からラリー中です）
- ②ものをたたいての応援（団扇を含みます）
- ③インターバル中の歌を歌うような応援（他のコートで試合をする妨げになります）
- ④フラッシュを使用しての撮影（ビデオのライトなどもプレーの妨げになります）
- ⑤観覧席の前列に立っての応援